

# 選挙による民意 「世代間格差」の行方



## これまで議論のあった 新たな選挙制度

国立国会図書館の調査による



ドメイン投票	世代別選挙区	余命投票
選挙権年齢未満の子にも選挙権を付与し、親が代理で行使することを可能とする	現在の地域別の選挙区割りに加えて「青年区」などの世代別の区割りを導入する	平均寿命から現在の年齢を引いた「平均余命」に応じて有権者の選挙権を増減させる
<b>特徴</b> 多子世帯ほど多く投票できるため出生増が期待される。ただ、子の人数による選挙権の格差を生む。子の利益を親が考慮する保証はない	<b>特徴</b> 世代ごとの有権者数に差があっても、世代別の議員は考えられている。ただ世代間対立をおおる懸念あり	<b>特徴</b> 平均余命の長い有権者の民意が反映されやすくなる。ただ高年齢を理由に選挙権を制限することになる

0歳児にも選挙権を——。日本維新の会共同代表の発言が4月、物議を醸した。憲法の原則に反するとして批判が多いが、実は若年層の利益を政治に反映させるために以前からあるアイデアでもある。選挙による民意の「世代間格差」をどう考えればいいのか。

## 維新の「0歳児に選挙権を」物議

「子どもや孫の世代は圧倒的に政治的に影響力がない」。維新共同代表の吉村洋文・大阪府知事は今春、こう述べて0歳児も含めた未成年者への選挙権付与を主張した。府内の12市町村が「消滅可能性自治体」とされたことを受けた発言。未成年者は親が子の分も投票するとして、子が3人いる自身は「4票の影響力がある」と述べた。

国立国会図書館の調査によると、2017年衆院選の有権者数は「65～69歳」が「20～24歳」の1・66倍。投票率も高齢者の方が高いことを勘案すると、実際の投票者数は高齢世代が若年層の3・97倍と推計できるといふ。1つし

## 親の代理投票で若年層の利益反映？ 違憲の声も

たことから政治家が高齢者の利益を重んじる「シルバードモクラシー」の弊害も指摘されている。

改善策の一つとして、子どもに選挙権を与えて親が投票を代行するのが「ドメイン投票」と呼ばれる制度だ。米国の人口学者ポール・ドメイン氏が1980年代に提唱。日本へも2010年ごろに紹介され、政府内外で議論された。

維新は以前から導入検討を政策提言に掲げており、今年5月には参院で維新の議員が岸田文雄首相に検討を迫った。選挙コンサルタントの大浜崎卓真さんは「支持層である子育て世代にアピールする意図があるのでは。維新らしい思い切った政策だが実現には課題が多い」とみる。

立命館大の倉田玲教授（憲法学）はドメイン投票について「明確に違憲だ。現行の憲法が想定する民主主義のあり方を抜本的に変えることになる」と指摘する。

代理投票を認めて一人ひとりの選挙権に実質的に差をつけるべきだ

「性別や貴賤に関係なく1人1票という普通選挙を実現してきた歴史がある。現在の普通選挙を揺るがすような制度変更は極めて慎重に議論するべきだ」

## 将来世代を重視する制度設計 模索を

ドイツでは00年代に連邦議会の動議で、ハンガリーでは11年に新憲法草案に含める形でドメイン投票導入が探られたが、実現しなかった。日本でも今のところ、議論が深まる様子はない。

だが法政大の小黒一正教授（公共経済学）は「解決策を考えなければ、世代間の選挙権の『格差』を放置することになる。奇策として無視せず、議論を深めるべきだ」と指摘する。国内ではドメイン投票以外の新たな制度もこれまで提案されてきた。表。

環境問題や原発の燃料・廃棄物の問題は、現役世代が利益を享受しながら、100年後、1万年後の世代に損失を押しつけている可能性がある。京都先端科学大の西條辰義特任教授（公共経済学）は、将来世代の利益を現代の政策決定に反映させる仕組みをつくる「フューチャー・デザイン」(FD)という概念を提唱し、10年以上研究を続けてきた。

例えば政策決定の議論の場に、2050年に生きる世代の利益を想像して主張する「仮想将来人」を入れると、最終的な結論が変わる可能性が示されているという。一方で、ドメイン投票方式を試行した実験では、高齢者がより自身の世代の利益を重視するような行動変容が見られたという。「通常ならば孫の利益を重視する高齢者でも、若年層の票数が増えるなら、自身の世代の利益を守る意識が働きやすくなる」。FDの実践のカギとなるのは、現在の世代が自身の利益を差し置いて将来世代の利益を優先する「将来可能性」だという。親が自分を犠牲にして子どもを守るといったことは時代や文化を問わず普遍的にみられる。何世代も後の人に対してどうした感覚を持つことはできないか。西條さんは「もともと人間に備わっているはずの将来可能性を発揮できるように、社会の仕組みをどのようにデザインするかを模索することが重要だ」と話す。(女学琴)